２０２３年度　入社式　社長訓示【東北電力　樋口社長】

１．はじめに

新しく東北電力と東北電力ネットワークで働く仲間となった皆さん、入社、誠におめでとうございます。

新たな一歩を踏み出し、不安や戸惑いを感じているかもしれませんが、社員全員が皆さんの入社を歓迎しています。

２．東北電力グループについて

はじめに、東北電力グループについてお話いたします。

東北電力は１９５１年に誕生し、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という考えのもと、社会生活に欠かせない電気を安定的かつ経済的に作り、送り、届けてきました。それは、東北電力グループの使命として、今も私たちに引き継がれています。

一方で、足元においては、ロシアのウクライナ侵攻に起因する国際エネルギー市場の混乱や、国内の電力需給ひっ迫などにより、電力の安定供給に関する社会的な重要性が再認識され、私たち電気事業者に対する社会からの期待が高まるとともに、安定供給への責任は益々、大きくなっています。

さらに私たちは、電力供給事業にとどまらず、ビジネスフィールドを広げ、地域に住む方々がより快適・安全・安心に暮らすことができる「東北・新潟発の新たな時代のスマート社会」の実現にも取り組んでいるところです。

具体的には、「電気＋サービス」「ＶＰＰ・ＰＰＡなどの次世代エネルギー」「地域課題解決につながる新領域」の３分野で事業化を進めており、早期に収益の柱に育てることで、東北電力グループの持続的な成長につなげていきたいと考えています。

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

こうした変革期にある東北電力グループの仲間となった皆さんへ伝えたいことを３点お話しします。

１点目は、「自分たちの仕事に自信と誇りをもってほしい」ということです。

東北電力グループの使命は、電力の安定供給を通じた東北・新潟地域の発展への貢献です。これは、今後も変わるものではありません。

電気は、暮らしや産業を支えるだけでなく、未来を作り出すうえで不可欠なものです。電気の安定供給や地域の課題解決に取り組む自分たちの仕事に自信と誇りを持ち、前を向いて取り組んでほしいと思います。

私は発電所や建設所での現場勤務の経験から、職場の一体感や地域・社会からの信頼の重要性など、たくさんの大切なことを学びました。

皆さんの中には、思うような配属個所でなかった方もいるかもしれませんが、東北電力グループの仕事はどれも「地域・社会を支えている」という自信と誇りを感じられるものばかりです。また、初任地での経験は必ずや、後々の皆さんの仕事に活きてきます。

皆さんには、まず配属された個所で一生懸命仕事に取り組み、たくさんのことを学んでほしいと思います。

２点目は、「どうすれば地域・社会によりそうことができるか考え、実践してほしい」ということです。

東北電力グループスローガンである「より、そう、ちから。」は、お客さまに「より沿う」、地域・社会に「寄り添う」という２つの「よりそう」をお約束するものです。

電気料金の値上げをお願いしている中で、いかにしてお客さまや地域・社会によりそうことができるのか、グループ全ての社員が主体的に考え、実践することが大切です。

皆さんには、最初は難しいかもしれませんが、仕事をするうえで「自分の仕事はお客さまの暮らしや地域の未来にどうかかわっているか」をよく考え、そのうえで「どういう仕事のやり方であればお客さま、地域・社会によりそうことができるか」ということを念頭に行動してほしいと思います。

そして、将来的には、地域・社会の課題を新たなビジネスの創出につなげ、課題解決という社会貢献と東北電力グループの利益向上を両立できるような人材へ成長してくれることを期待しています。

３点目は、「地域・社会から信頼される社員になってほしい」ということです。

地域・社会からの信頼なくして当社グループの事業運営は成し得ません。

皆さん報道で承知していると思いますが、残念ながら、お客さま情報の不正閲覧などがあった結果、東北電力グループへの信頼が大きく揺らいでいます。

こうしたことをなくすためには、自分の行動は勿論、周りの人の行動も含め、企業倫理・法令遵守が浸透しているか、常に意識して業務にあたる必要があります。

皆さんは、よい意味で、会社のやり方に染まっていないので、その新鮮な感覚で「おかしさ」に気づくことができるかもしれません。その感覚を大切にして、気づいたことは上司・先輩に何でも話してください。

毎日のその心がけによって、皆さん一人ひとりが地域・社会から信頼される社員になり、ひいては東北電力グループへの厚い信頼につながると考えています。

４．むすび

最後になりますが、あの未曾有の悲劇をもたらした東日本大震災から１２年が経過しました。震災後も異常気象による災害や、二年連続で発生した福島県沖地震もありましたが、この間、社員の皆さん一人ひとりが毎日地道に努力を積み重ね、地域の復旧・復興と、電力設備のインフラを支えてきました。

そして今、変革期にある東北電力グループを選んだ皆さんだからこそ、新たな発想力やチャレンジ精神で、東北電力グループの成長をけん引してくれるものと期待しています。

今年のモットーは「さらなる飛躍へ 挑戦！挑戦！挑戦！」です。

一人ひとりの力を結集して、地域・社会、そして、東北電力グループの明るい未来を切り開くために、『どうしたらできるか』。よろしいですか、「どうしたらできるか」ですよ、「どうしたらできるか」。この視点を常にもって、無限大の可能性に挑戦していきましょう。

あらためて入社おめでとうございます。力をあわせて共に頑張りましょう。皆さんの活躍に大いに期待しております。

以　上